

【宮古市産業まつり】

令和4年10月1日、2日に“宮古市産業まつり”が宮古市総合体育館において盛大に開催されました。今回は、メインとなる屋外での地元産物等の販売、飲食のほか、コロナ禍で中止となっていた市内の官庁・企業・団体等の屋内展示が復活し、3年ぶりに三陸北部森林管理署も出展させていただきました。出展内容は、木工コーナー、樹木クイズ、山地災害復旧の写真展示や森林管理署業務の紹介の展示です。

両日とも多くの家族連れの方々にお越しいただきました。木工コーナーでは、スギ間伐材を用いた動物のおもちゃが人気で、クギを使わずに制作できるため小さなお子さんに大人気でした。ペン立ては制作難易度が少し高いため、人気はまずまずといった印象でした。“樹木クイズ”では、宮古市内で見ることのできる樹種の葉を14種類展示し名前を当ててもらおうクイズですが、中には非常に樹木に詳しく全て当ててしまうような方もおり、こちらが勉強になることもありました。



三陸北部森林管理署ブース設営の様子



真剣に木工キットの組み立てをする親子

三陸北部森林管理署としては令和元年以来となる参加で、以前の開催風景を知る者がほとんどおらず、準備も手探り状態でしたが、最後まで盛況のうちに出展を終えることができました。来年は今回の経験を生かし、森林・林業のPRはもとより、より楽しく勉強になるような出展を目指していきたいと考えております。



“ペン立てキット”の組立をお手伝い



葉っぱから樹木を当てる”樹木クイズ”